

平成22年度 唐津市立打上中学校 学校評価結果

1 学校教育目標							
一人一人の個性と能力を伸ばし、思いやりの心を育て、人間性豊かで心身共に健全で調和のとれた生徒の育成をめざす。 ～「わたしていいところあるなあ」と思える生徒の育成～							
2 学校経営ビジョン							
(学校経営ビジョン) 「すべての生徒が楽しんで登校し、生き生きとした活気ある学校」 (めざす教師像) 生徒に向き合い、生徒に何をなすべきか、自ら考え行動できる教師 ・目[子どもの良さ(可能性)を常に見つめる教師] ・技[子どもの良さを生かす力量を常に追い求める教師] ・心[チームの意識を持って指導にあたる教師] (めざす生徒像) 生徒一人一人が自分の良さを実感できる学校・学級のもとで わたしていいところあるなあと思える生徒 ・学ぶ喜びを知る生徒 わかる！できる！楽しい！ ・豊かであたたかい心を育む生徒 わかるよ！その気持ち ・心身を磨き鍛える生徒 やったぞ！わたしも (めざす保護者像) ・我が子の心の成長を一番に思う保護者 ・学校と家庭との共育を大切に考える保護者 ・打上中全ての生徒の成長を心から願う保護者							
3 本年度の重点目標			4 前年度の成果と課題				
<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ喜びを知る生徒の育成 学力向上と進路指導の充実 豊かであたたかい心を育む生徒の育成 情操教育の推進 道徳教育の推進 生徒指導の充実 人権を尊重した教育の推進 特別支援教育の推進 生徒会の育成とボランティア活動の推進 小中連携による特色ある教育活動の推進 心身を磨き鍛える生徒の育成 健康安全、食育教育の推進 			<p>前年度は学力向上に向けた小中合同の研修会を持ち、生徒の学習意欲や指導のあり方について話し合った。学習指導や生徒指導において職員間の協力・共通理解が見られ、いじめについては、早期発見、的確な対応ができた。</p> <p>しかし、まだ基本的な生活習慣や学習習慣が十分身に付いていない面もあり、今年度も時間、あいさつ、掃除、服装を重点的に指導し、基本的な生活習慣の定着を目指したい。また、全学年において、課題提出を徹底させ、学習習慣の育成を図り、少人数・TT授業を実施し学力の向上を目指す。</p>				
5 総括表							
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	評価及びその理由	具体的方策	成果と課題	
学校運営	学校経営方針	学校教育目標及び本年度の重点目標の周知	・育友会総会、学校便り、学級保護者会及び学校のホームページを通し周知を図る。保護者への周知率を90%以上にする。	A 周知率が96%である。	・昨年度、保護者への周知率が90%以上で、周知率が高まってきている。今後も育友会総会、学級保護者会等で説明するなどして周知徹底する。	周知率96%で目標は達成している。さらに校内への掲示で周知を図る。	
	教職員の資質向上	校内授業研究の推進を図り、資質向上に努める	・全職員が研究授業を一回以上行う。	A	・全員による研究授業ができ、研修会へも積極的な参加ができた。	・全職員の研究授業が計画的に実施できた。来年度も引き継いでいく。教育センター研修も意欲的に参加して、自己研修、研鑽に努める。	
	開かれた学校づくり	開かれた学校づくりの推進	・学校公開、体育大会、文化祭等、来校者を年間延べ数1200人をめざす。	A	・各行事への参加者目標は達成できた。	・案内文、学校便り、学級便り、ホームページ等を通して、密に情報発信を行い、地域の会合で積極的に学校への訪問を呼びかける。	・育友会の協力があつた。3校統合への準備を進めていく。
教育活動	学力向上	少人数授業・TT授業による学力の向上	・3年生は全国学習・状況調査において、1、2年生は佐賀県学習状況調査において、全教科平均を上回ること。	C	・佐賀県平均に行っていない。1年生は唐津市平均を上回っているが、2年生は4教科で下回っている。	・3年生は、英語については少人数による授業、数学、理科、社会についてはTTによる授業を多く行い、1年生は英語・数学の授業でTT授業を行う。	・学習意欲の向上とあきらめない生徒を育てる。学級通信等を活用し家庭との連携・協力を進めていく。
	心の教育	道徳の授業の充実と講演会の開催	・ふれあい道徳週間を設け、年一回以上道徳の参観授業を行う。また、「心の教育」講演会を開催する。	A	・計画通りの実施ができた。	・ふれあい道徳週間を設け、年一回以上全学級で保護者や地域の方が参観する道徳の授業を行う。	・今年度は唐津市教育の日に道徳の公開授業を実施できた。来年度も実施して、ふれあい道徳授業の参観者を増やす。
	健康・体づくり	「生きる力」を育むための体育、食育の推進	・知育、徳育、体育、食育のバランスのとれた指導を行い、人格形成の一助とする。また、朝食をとって登校する生徒100%をめざす。	A	・夏季休業中に体力の向上を取り組み、インフルエンザの流行もない。食育では、給食センタの見学や交流ができた。	・全職員で給食指導を行い、また、複数の職員で給食指導に入り、食事のマナーや食べ物を大切にすることを育てる。 ・朝の健康調査で朝食抜きの生徒等を確認し、適切な指導を行う。	・給食時間には、級外も担任と一緒に学級に入り指導ができた。インフルエンザ等の流行もなく、元気に過ごせた。食育特に朝食を食べる大切さを指導していく。
	生徒指導	生徒指導の充実 教育相談の充実	・基本的な生活習慣を確立させる。 ・教育相談を定期的に行い、生徒の心の把握に努めいじめを見逃さない体制をつくる。 ・学校生活が楽しいと思える生徒で、元気よくあいさつができる生徒をめざす。	B	・大きな問題行動がなく、教育相談活動も計画的に充実している。学校が楽しくないと言う生徒が少しいる。	・年度当初に職員間で指導方法と指導体制の共通理解を図り、毎月生徒指導委員会で連絡を密にする。 ・職員と生徒会によるあいさつ運動を毎日実施する。 ・定期的なアンケートを実施し、いじめやからかい等のない学校づくり	・大きな生徒指導上の問題は起こらなかった。今後も、生徒指導上の問題を未然に防ぐ攻めの姿勢を持つ。教育相談では不登校対策について研修し、解決へ向けて取り組む。
	読書指導・学校図書館教育	朝読書の推進と図書室利用の活性化	・落ち着いた生活、読解力の向上を図る。 ・1年間20冊以上をめざす。 ・新刊の紹介を定期的に行い、読書への興味を促す。	B	・一人20冊以上の目標が達成できなかったが、新刊の紹介等で本に対する興味が出てきた生徒がいる。	・朝登校してきたらすぐに読書に取りかかり、全生徒・全職員で取り組む。	・新刊の紹介等で図書に興味を持つ生徒が出てきた。全校での一人20冊以上を読む運動を盛り上げる。
	環境教育	校内の環境美化の推進	・全員で協力して掃除に取り組み、始まりと終わりの時間を厳守する。 ・一人一鉢運動に取り組み花いっぱい学校にする。	A	・生徒会活動を中心に、美しい学校環境を保っている。	・教師と生徒と一緒に楽しく掃除や花作りに取り組み、居心地の良い学校環境作りを努める。	・一年中花のある学校環境を維持できた。来年度も生徒会を中心に活動していく。
特定課題	中1TT(英・数・国語)の学習環境の改善充実(少人数指導・TT指導)	中1における少人数・TT指導の充実	・佐賀県の学習状況調査において、県平均を上回ること。	B	・佐賀県の平均を上回っていないが、唐津市平均は上回っている。	・自己学習力を高めるため、小テスト、予習復習、自学ノートに取り組みさせ、事後の指導を徹底する。	・指導に応える生徒の育成を図る。来年度は2クラスになるので、競い合う面は現れる。生徒の学習意欲の向上を目指す。
	特別支援教育	特別支援教育体制の確立	・校内委員会を設置し、支援を要する生徒について個別の支援計画を作成する。	A	・個別の支援計画を作成し指導を行っている。定期的に校内研修や情報交換を行っている。	・個別の支援計画を各学年で作成し指導にあたる。	・各担任が個別の指導計画を作成し、指導の充実を図る。
	奉仕の精神の高揚	ボランティア活動の推進	・ボランティア精神を生徒一人ひとりのところに生徒活動を通して育てる。	A	・生徒会活動を中心に、地域の清掃活動に取り組んだ。	・定期的なボランティア活動を生徒会活動の専門部を中心に取り組む。	・生徒会活動として、来年度もボランティア活動を行っていく。
	特色ある教育活動	小中連携の充実と発展	・小・中学校互いに授業を公開し合い、互いの教育内容や方法を周知する。合同の研修会を学期1回以上はもち、場合によっては各委員会を開催する。	A	・計画的に交流ができた。音楽、英語の出張授業や夏季休業中に小学校から算数の指導を行った。お互いの授業の公開も行っている。	・職員との交流を研究授業交流にとどまらず、音楽や英語の出張授業や夏季休業中を利用した、小学校からの算数指導を受け入れ基礎学力の向上を目指す。小中での学習のルール4項目を設定し授業規律を図る。	・小中連携を今後とも進めていく。校舎が隣接している利点を活用した連携していく。
6 総合評価							
<p>生徒指導では、全職員による早期発見、適切な対応により問題が大きくなることなく指導できた。交通事故とりわけ自転車事故については、地域からの指摘もあり、指導を強化し、自転車停止処分を行い注意を促した。</p> <p>学力向上の取り組みは、生徒会の呼びかけで学びのルールを作成し、教室に掲示し全校生徒で学習の規律に取り組んだ。全職員による研究授業で指導方法の改善ができた。しかし、生徒の学力向上につながっていない現状がある。唐津市教育の日に道徳の公開授業を設けることで参加者増えた。</p> <p>学校環境美化では、掃除の徹底や生徒会の呼びかけで、一人一鉢による花の栽培を通して、一年中草花の咲く落ち着いた環境を整えている。</p> <p>保護者のアンケートの結果より、好意的な割合は92%で批判的な割合は8%である。全教育活動に対して学校への信頼は高い。</p>							
7 来年度の改善策							
<p>学校経営方針については、今年のように具体的に感じられる目標を設定し、校内掲示等で保護者が目に付きやすい方策をとればさらによくなる。</p> <p>学力向上については、学習意欲を高め、日々努力する習慣づけが大切だと考える。親との協体制を学級通信等を利用して行う。</p> <p>教育相談の充実を図り、不登校生徒の対応と改善に取り組む。</p>							
は共通評価項目、 は独自評価項目							